

気骨のジャーナリスト(東京新聞編集委員)

半田 滋さん講演会



麻生政権は、アメリカの要請に依って日本からはるかに離れた
アフリカ・ソマリア沖に自衛隊艦船2隻を法律も作らず大急ぎで
派遣しました。「海賊対処」を口実にした海外派遣はさらにエス
カレートしてソマリアに隣接するジブチに哨戒機P3Cの基地
を造るといふ。陸上自衛隊がその防衛の任にあたり、物資の輸送
を航空自衛隊が担当するという。陸海空3軍が一体になって海外
で展開することになります。しかもいま国会で審議されている
「海賊対処法案」では武力行使が公然と謳われています。
マスメディアの多くが御用化している中、鋭い論陣を張ってい
る半田滋さんに自衛隊海外派遣の実態と、その持つ意味を語って
いただきます。

半田 滋 (はんた しげる)

1955年栃木県宇都宮市生まれ。下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社、東京新聞編集局社会部勤務。2007年8月より編集委員。93年防衛庁防衛研究所特別課程修了。92年より防衛庁取材を担当し、アメリカ、ロシア、韓国、イラク、カンボジアなど海外取材も豊富。自衛隊の権限や米軍の活動について、新聞や月刊誌に論考を多数発表している。07年12月、「新防人考・変ぼうする自衛隊」の連載で、「第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞」大賞を受賞した。著書に『戦地』派遣 変わる自衛隊』(岩波書店)、『闘えない軍隊』(講談社)、『自衛隊 vs 北朝鮮』(新潮社) などがある。

自衛隊海外派遣が 呼び込む 憲法9条液状化

日時: 6月14日(日) 14:00~16:30
場所: 愛知大学車道校舎 K803 教室

地下鉄桜通線「車道」駅下車①番出口徒歩2分

参加費: 500円 (学生は無料)

共催: 愛知大学九条の会 / 第9条の会なごや

連絡先

愛知大学九条の会 jimukyoku@aidai9jo.sakura.ne.jp
第9条の会なごや 名古屋市守山区弁天が丘 大森台 2-105(川合方)
T&F 052-798-2789 携帯 090-9171-6038(加藤)